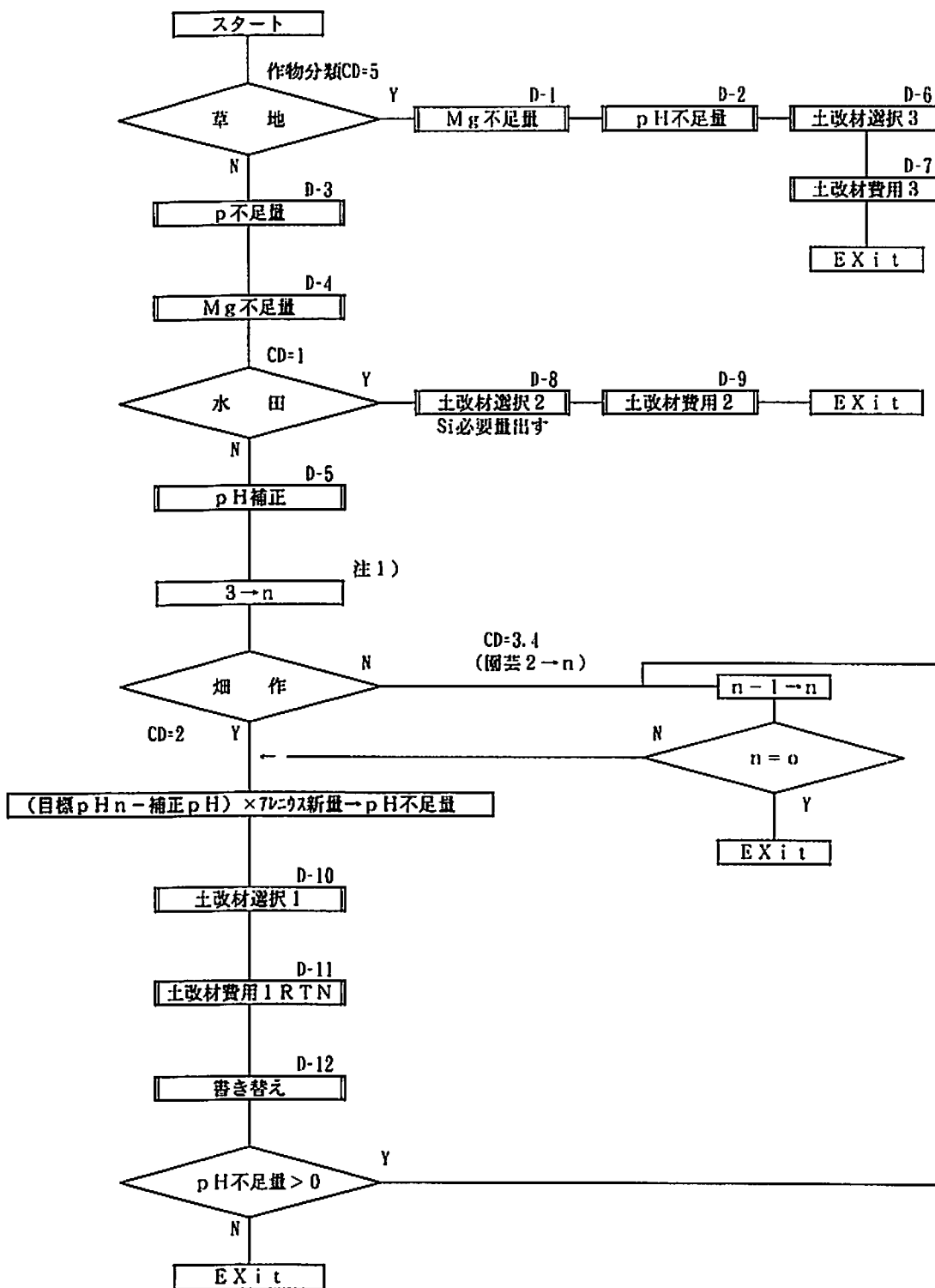


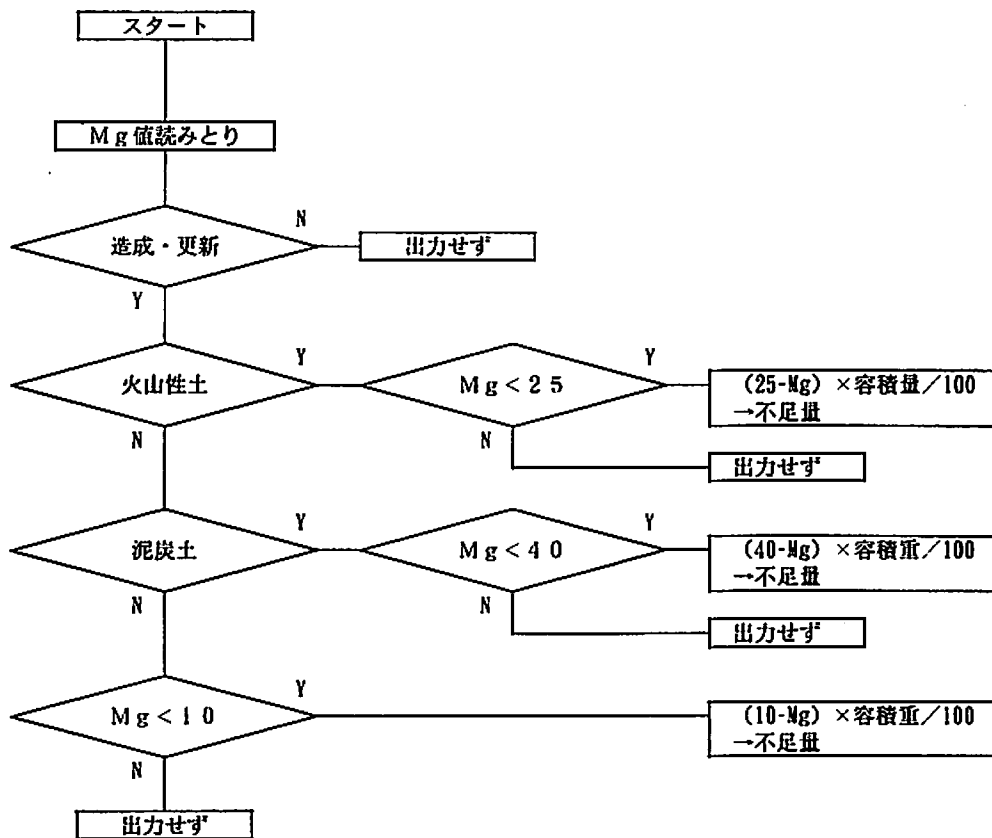
D 土壤改良資材不足量算出、選択の全体フロー



注1) 畑作は3種類の目標pH、園芸、果樹は2種類の目標pHについて、それぞれ土改資材を算出する。  
畑作は5.5、5.7、6.0、園芸、果樹は6.0、6.5。

注2) 必須項目が未入力の場合は欠測値を0とみなして資材量を計算する。

D-1 草地のMg不足量算出フロー



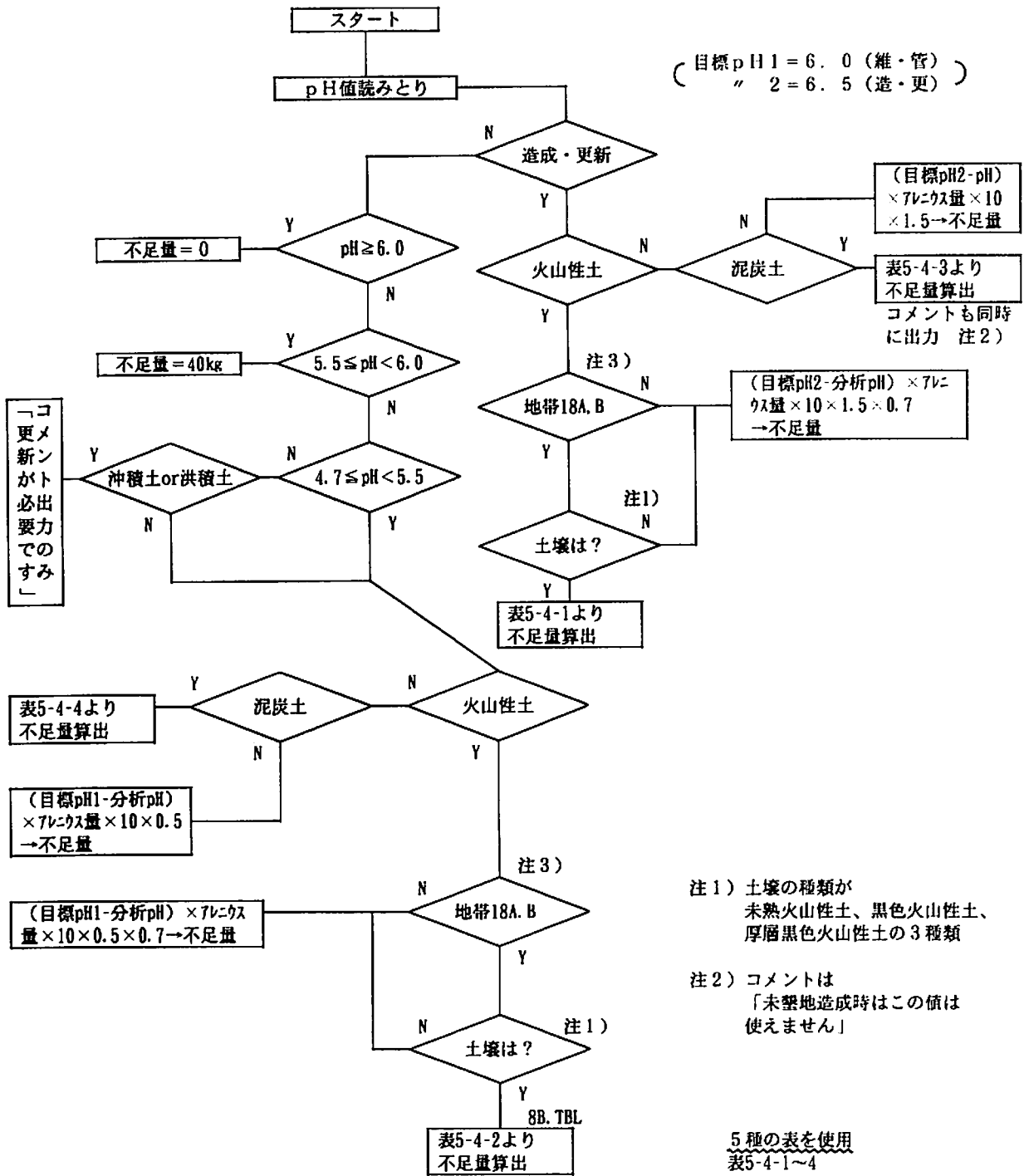
Mg < 25 → 分析Mg < 目標Mg 4  
 Mg < 40 → " < " 2  
 Mg < 10 → " < " 1

目標Mg 1 = 10 (沖積、洪積)  
 " 2 = 40 (泥炭)  
 " 4 = 25 (火山性土)

(25 - Mg) → (目標Mg 4 - 分析Mg)  
 (40 - Mg) → ( " 2 - " )  
 (10 - Mg) → ( " 1 - " )

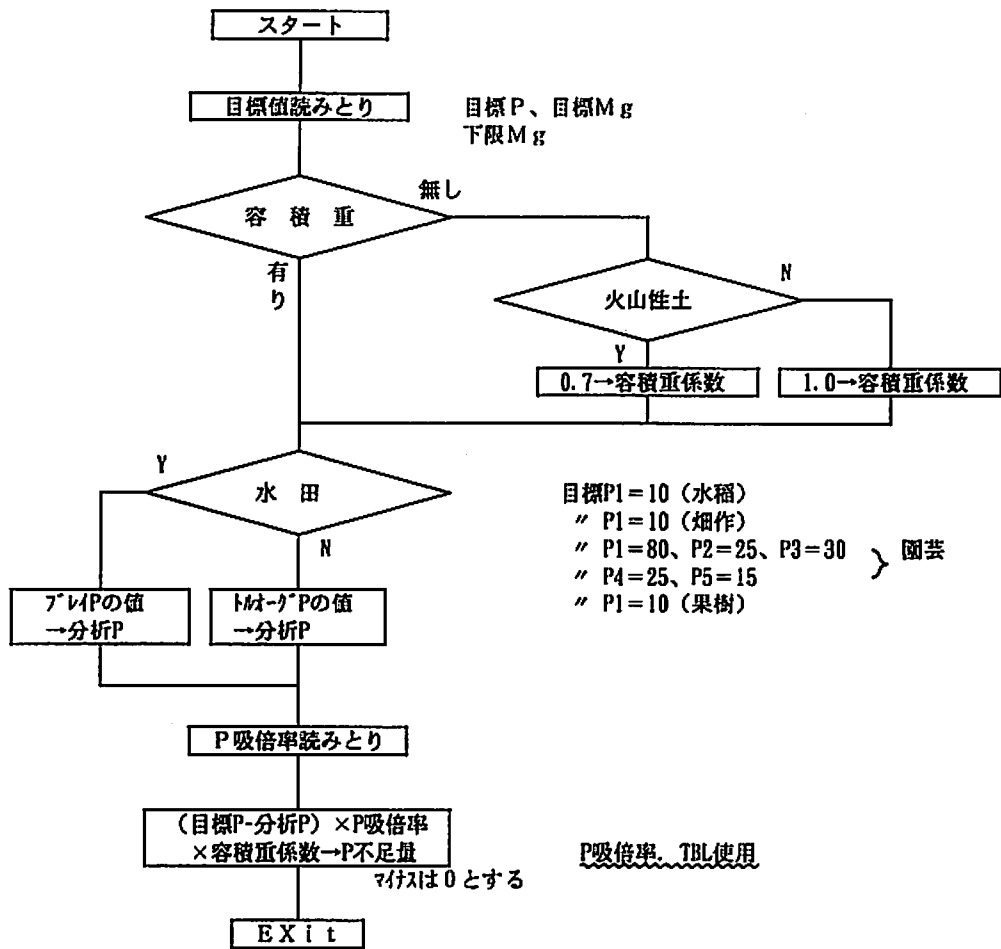
ここでは、Mg不足量を算出しているが、Mg不足量 > 0 の場合のみpH資材名に「苦土炭カル」を選択するにとどめる。その量はpH不足量から算出する。Mg不足量 ≤ 0 の場合は、pH資材名に「炭カル」を入れ、pH不足量から算出する。→ D-6

D-2 草地のpH不足量算出フロー

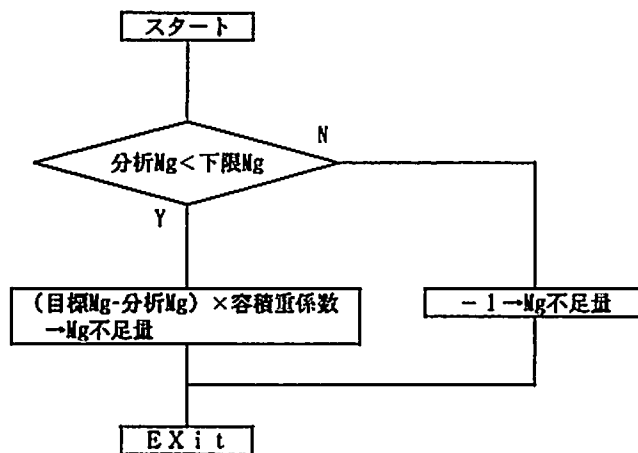


注3) この場合の地帯区分のみ、一般畑作の地帯区分を適用する。

D-3 P不足量算出フロー（草地以外）

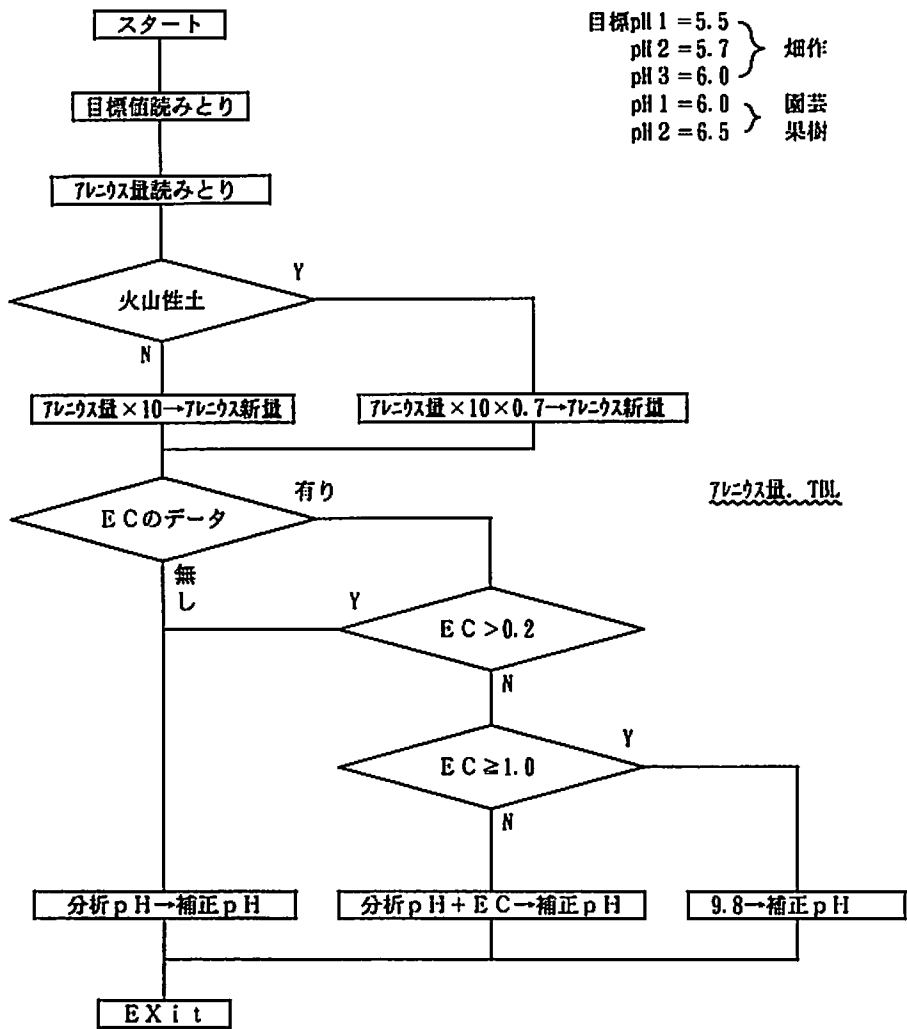


D-4 Mg不足量算出フロー（草地以外）

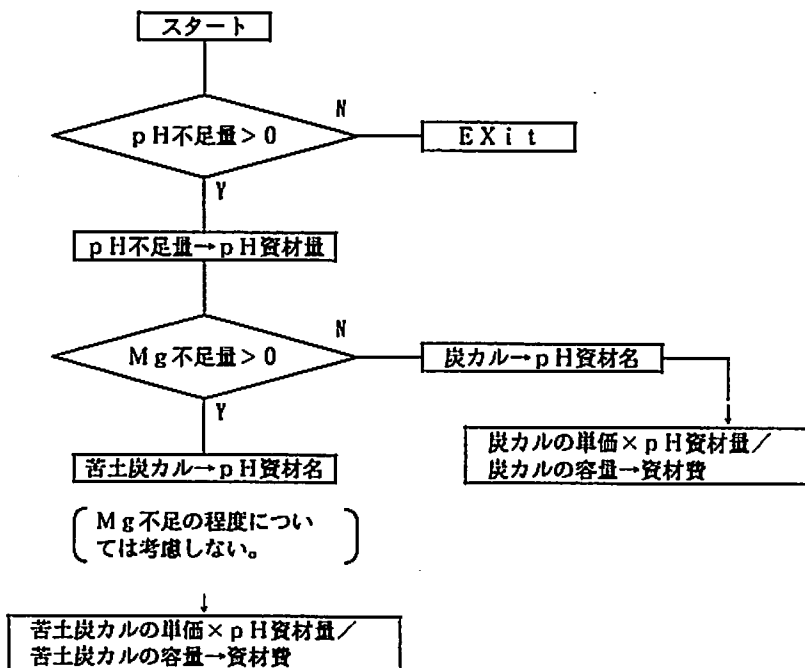


作目	目標Mg	下限Mg	
水田	25	25	
畑作	35	25	
果樹	35	25	
圃芸 1	25	20	(CEC14以下)
" 2	35	25	( " 15~24)
" 3	40	30	( " 25以上)

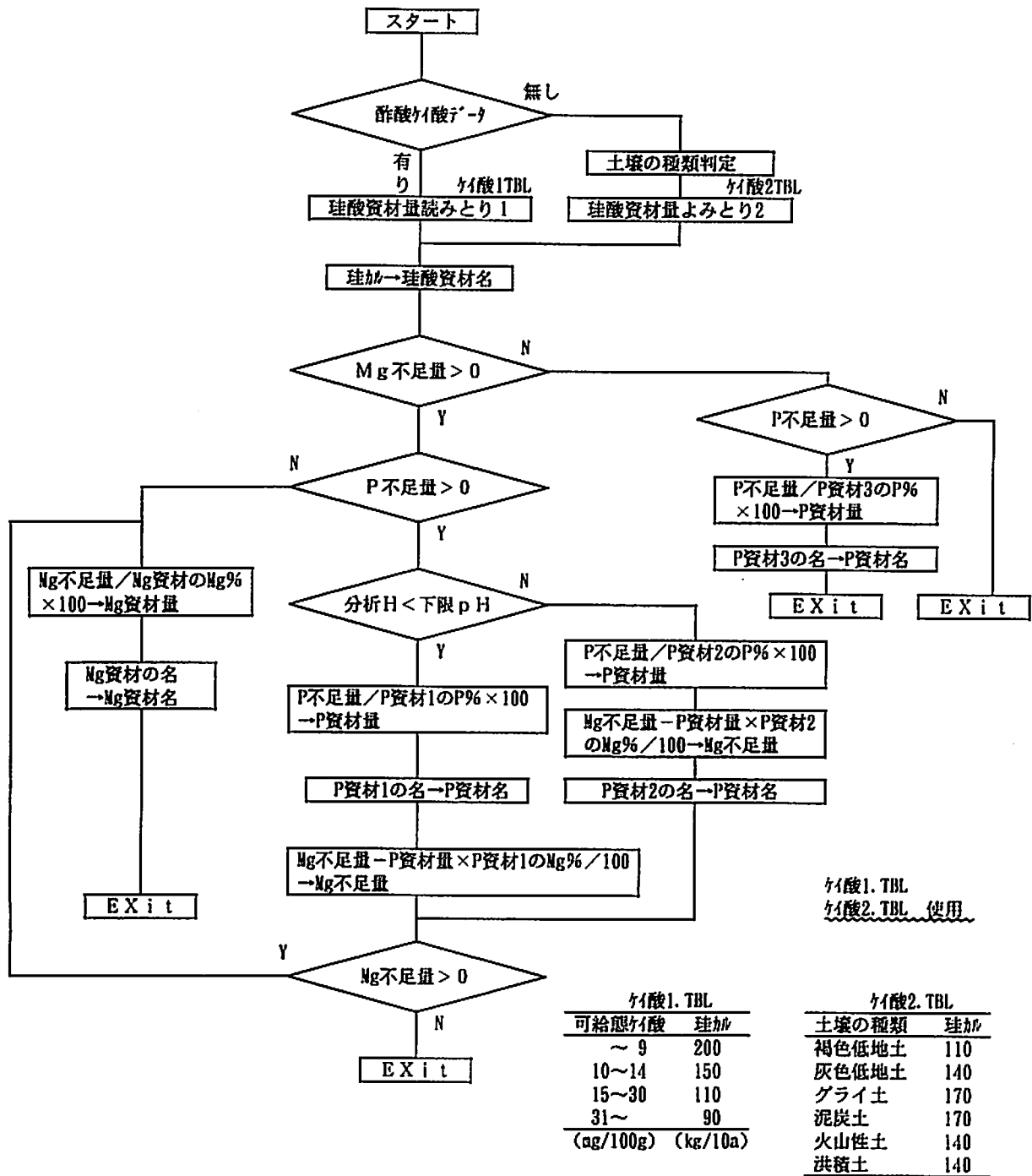
D-5 pH補正フロー (草地、水田以外)



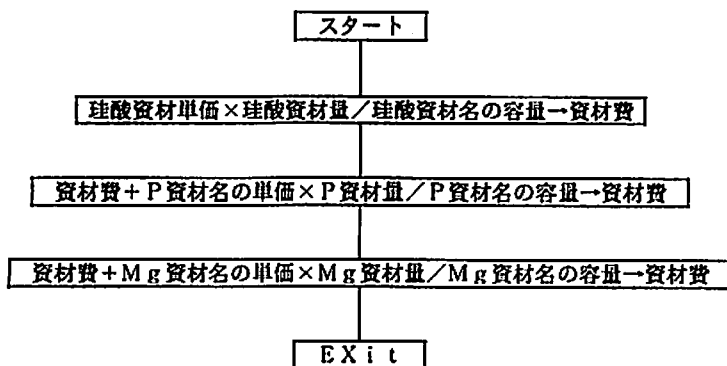
D-6、7 草地土改材選択3・費用のフロー

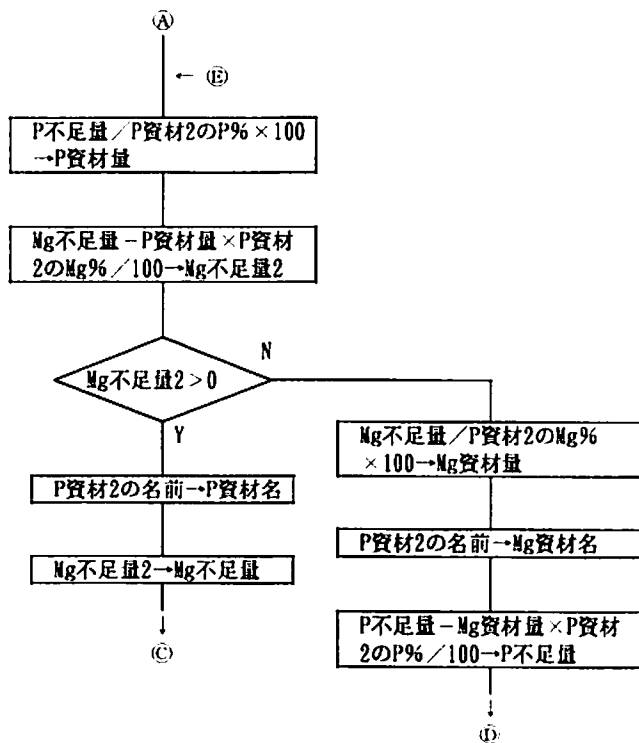
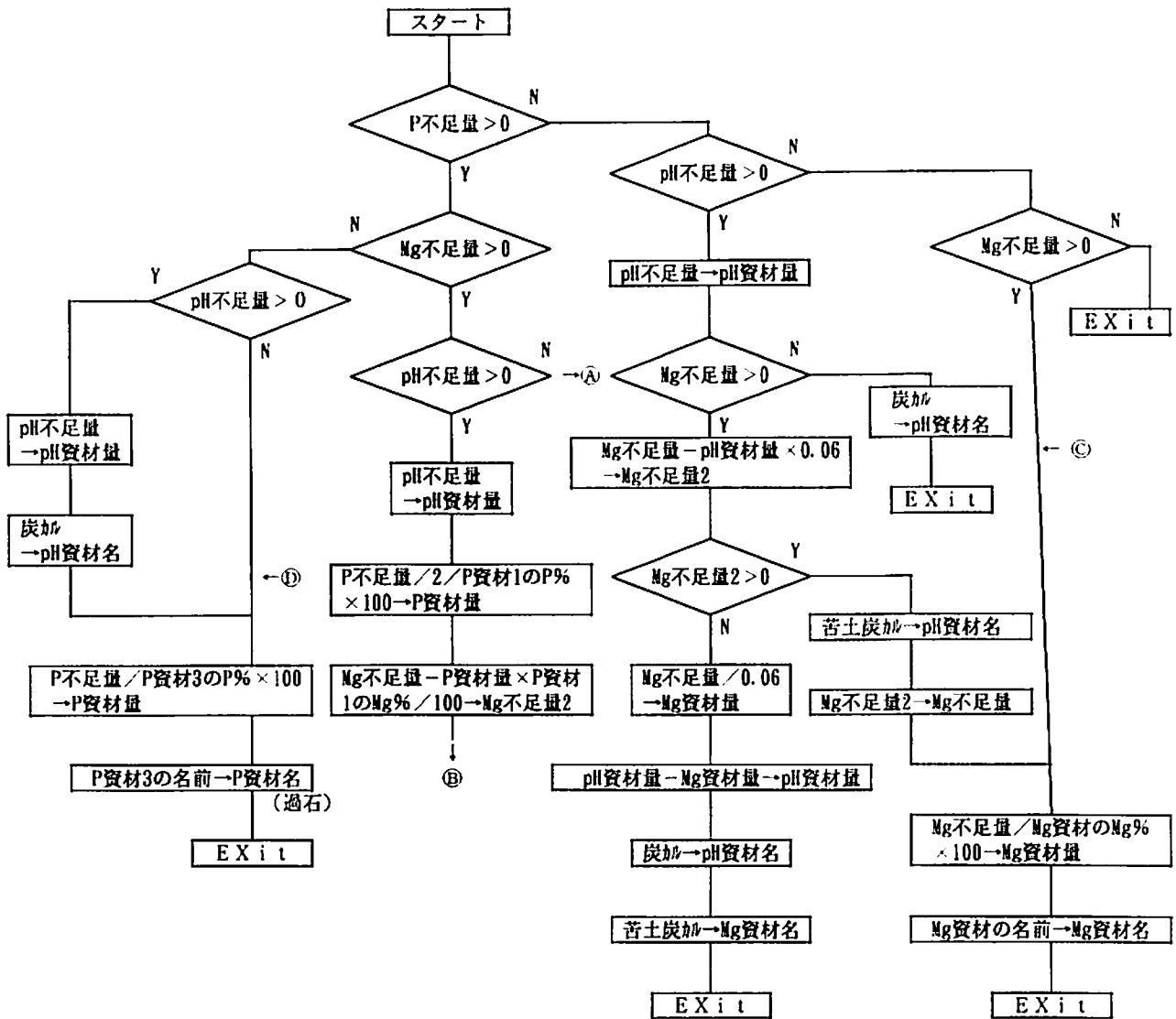


D-8 水田土改材選択2のフロー

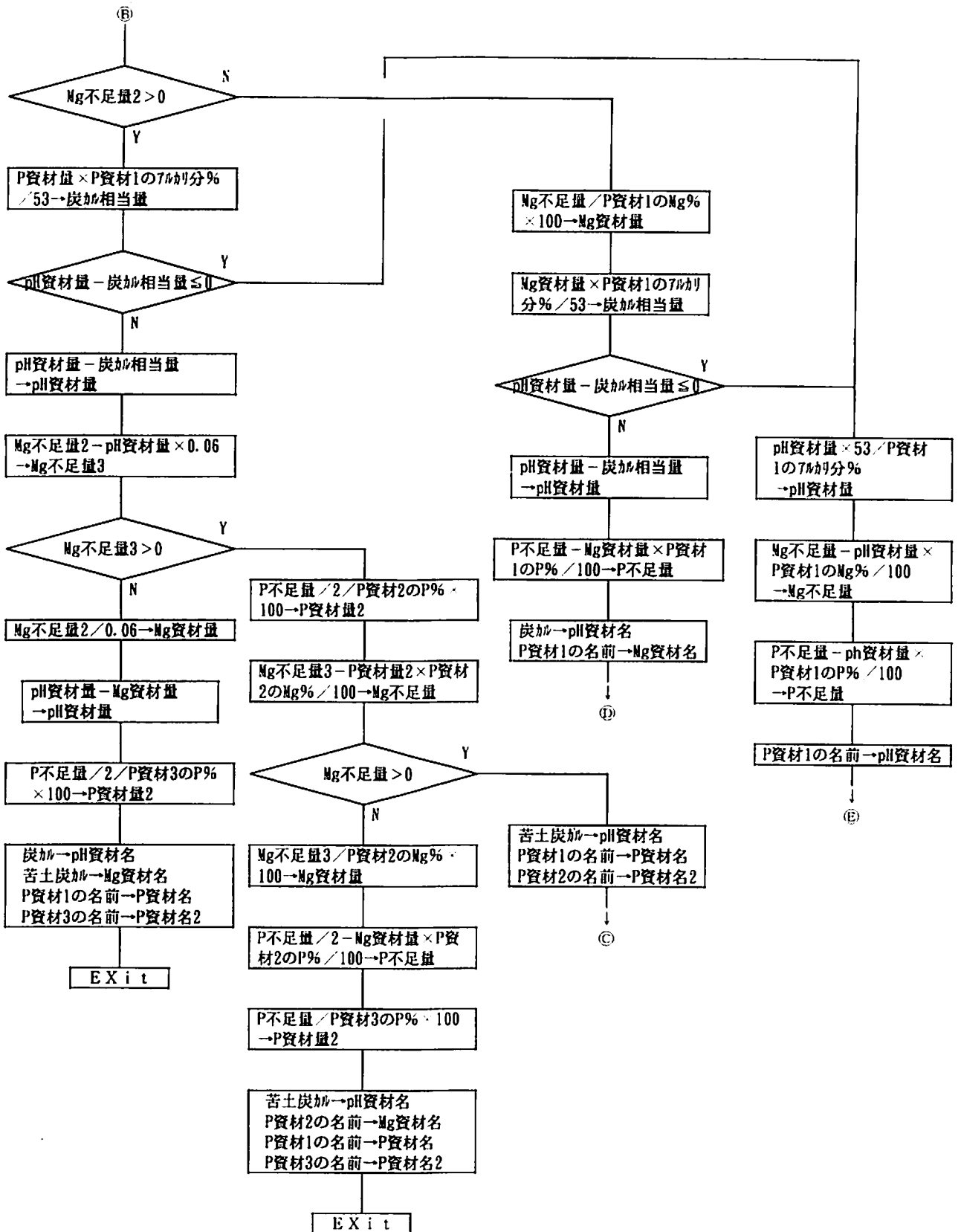


D-9 土改材費用2のフロー



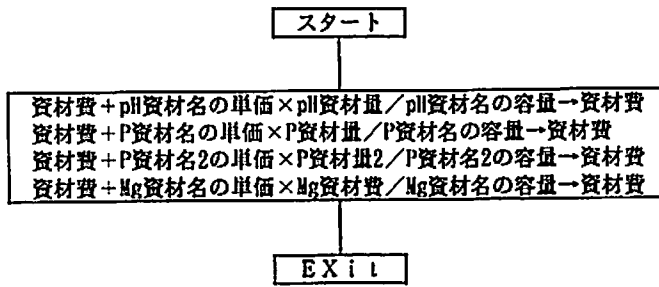


D-10 土改材選択1のフロー(その2)





D-11 土改材費用1のフロー



D-12 書きかえのフロー

